

第21回日本仏教総合研究学会学術大会

開催日 2022年12月11日（日）

会場 慶應義塾大学三田キャンパス西校舎ホール

※今年度の学術大会は対面で実施し、オンラインを併用いたします。会員・非会員を問わず、対面参加・オンライン参加いずれの場合も、申込みフォームより参加登録をしていただきますようお願いします（登録締切日：12月9日）。
参加登録等の詳細は当会ホームページ（<https://bussou.jp/>）をご覧ください。

プログラム

会長挨拶 10：00～10：10

研究報告

① 武本 宗一郎（早稲田大学大学院） 10：10～10：55

「天台教判論における『提謂経』の位置付け」

② 北畠 浄光（龍谷大学） 10：55～11：40

「白河院政期における京周辺の仏事と聖の活動 ―禅林寺永観の宗教的実践を手がかりに―」

20周年記念シンポジウム「寺院調査の進展と仏教史研究」

シンポジウム趣旨説明 高橋悠介（慶應義塾大学） 13：00～13：10

報告① 西 弥生（種智院大学） 13：10～13：50

「真言密教の修法と聖教」

報告② 大東 敬明（國學院大学） 13：50～14：30

「神祇書・神道印信類の集成と伝播」

報告③ 皿井 舞（学習院大学） 14：30～15：10

「寺院調査と仏教美術史 ―京都・大報恩寺創建時の尊像構成に関する再論―」

コメント 上島 享（京都大学）

討論

総会 16：30～17：00

※シンポジウム共催：

科学研究費・基盤研究（B）「称名寺の唱導資料を中心とした寺院聖教の調査・研究」（研究代表者：高橋悠介）、若手研究
『日本霊異記』の史料論的研究―東アジア仏教説話の比較―（研究代表者：藤本誠）